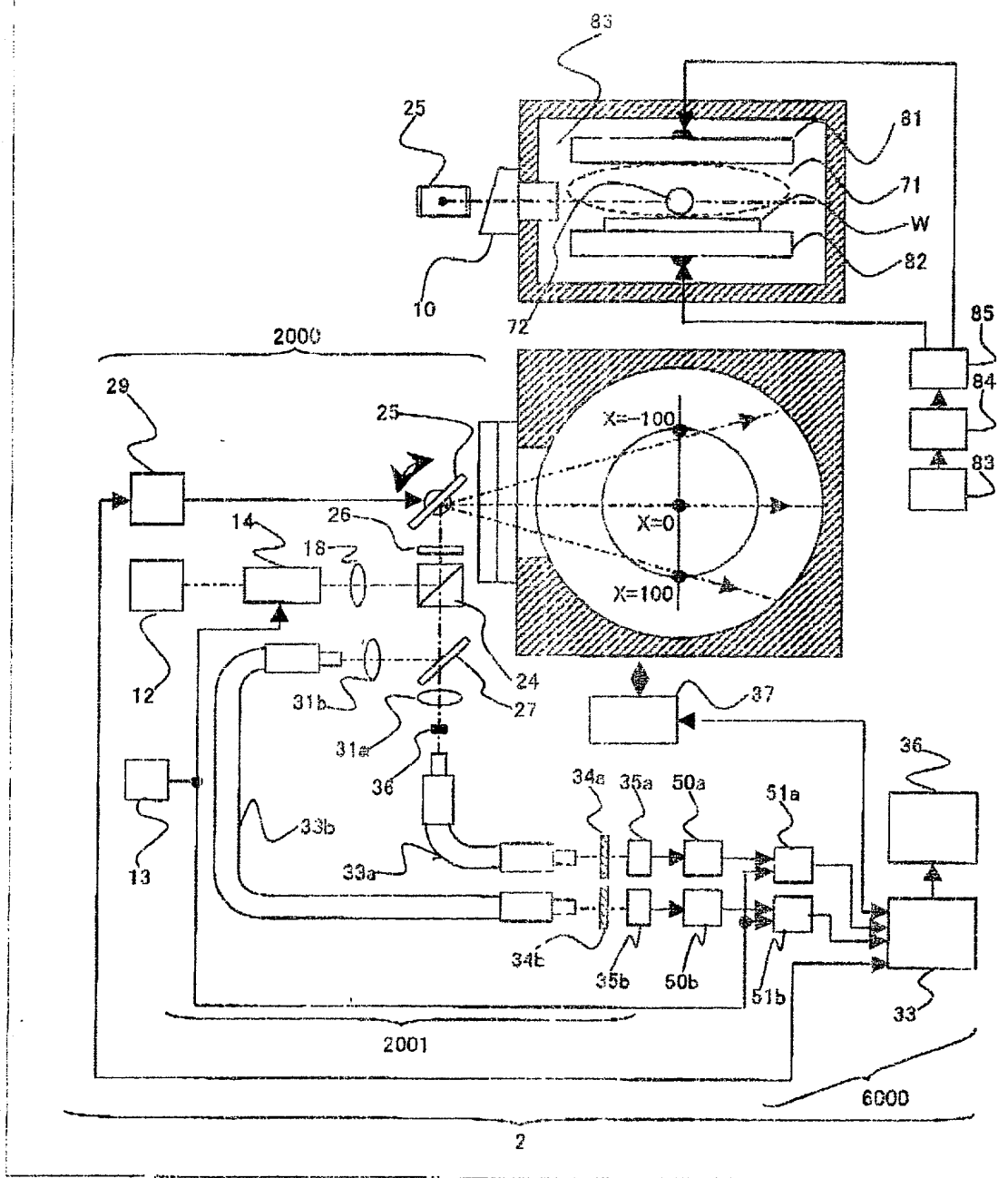


340101349 :

電子出願図面用紙

March



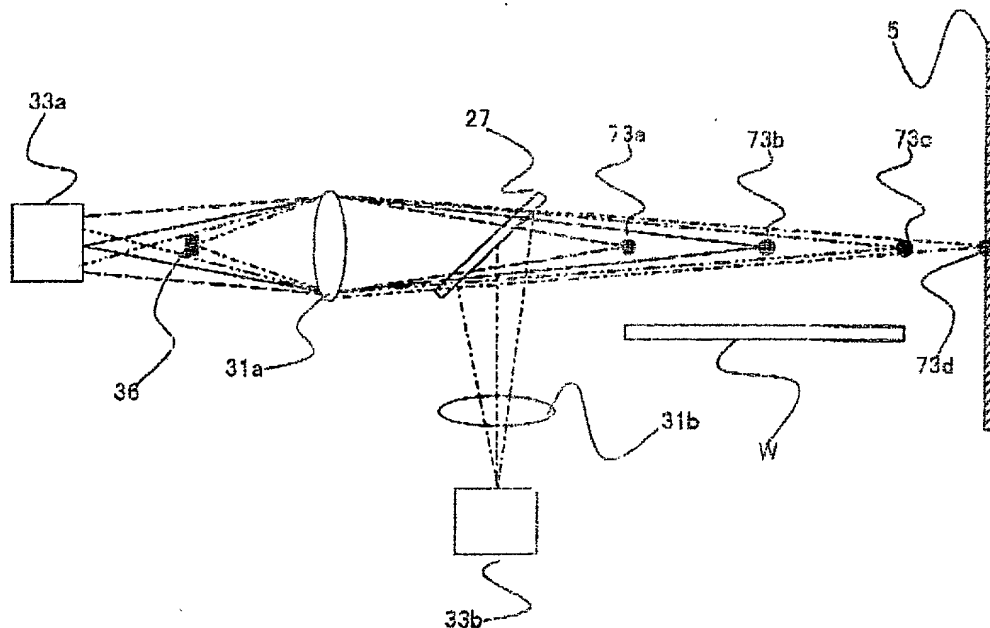
## 作成上の注意

1. 図1の符号を略号に換へて図を1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に番1、図2のように連続番号を付し、番号順に並べる。
3. 中心線に記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は四角で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が二以上の図にある場合は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上段枠内(横約25mm×縦約15mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側に矢印で入れる。
9. 枠内に二重の中心線を入れるときは斜方向に分け、各方向の間を各10mmに納むこと。
10. 図面は書き出されたガイスタンプ(例として040)で写し取られる次の段に転写する。
  - a. 傾斜線の交点 なるべくできるだけ大きくしてポイントを設け、示す。
  - b. 断面を指示する場合は、ハッチングを施す。直りつぶしは行わない。
11. 実線はAサイズの下に縦長にグリーンする。
12. 差、試就または記号によって作成する。

340101349

# 電子出願図面用紙

【図2】



## 作成上の注意

1. 図面の寸法を最もよく表す図1とする。
2. 各図は、図1の寸法に図1、図2のように図面番号を付し、各図面に記す。
3. 図面は描き出し図面またはカメラ撮影図面（100倍）で図面を記すため次の寸法に記す。
4. 図面中の文字、記号はできるだけ大きく（10ポイント）記す。
5. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
6. 図面はA3サイズ（297mm×420mm）に記す。
7. 図面はA3サイズ（297mm×420mm）に記す。
8. 図1、図2などの図面は図1の寸法に記す。
9. 図内に20mm以上の寸法を記す場合は、各図面の寸法を20mmに記す。
10. 図面は描き出し図面またはカメラ撮影図面（100倍）で図面を記すため次の寸法に記す。
11. 図面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
12. 図面はA3サイズ（297mm×420mm）に記す。

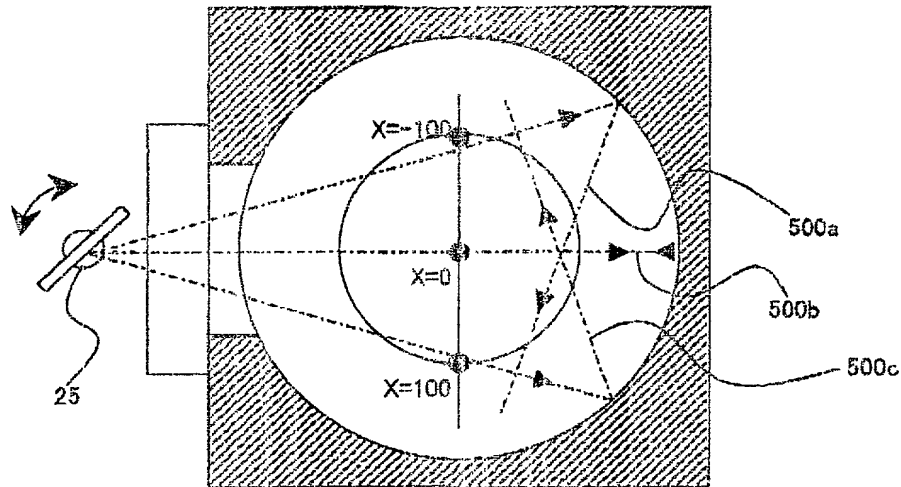




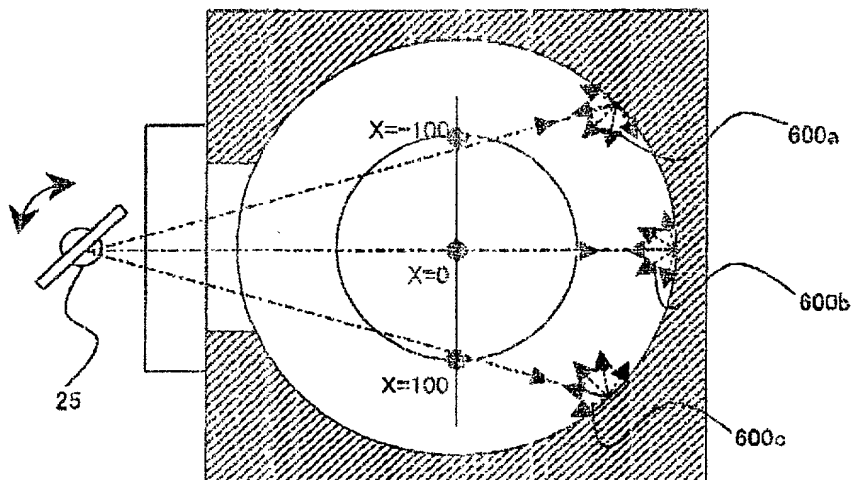
340101349

## 電子出願図面用紙

【図7】



【図8】



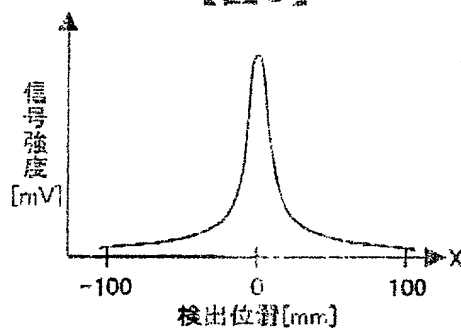
## 作成上の注意

1. 図面の特徴を最もよく表す図を区1とする。
2. 各図ごとに、図1の図面に図1、図2のように消滅番号を付し、図1面に記す。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アブビタ等)は、図面を引いて記入する。
5. 符号は必ず図面に記入する。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一符号を各図に付ける。
7. 図面は上記の図面に21.5mm×(図)14.8mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上面中央部に入れる。
9. 図面に図1の図面を記入するときは、図1の図面に2.0mmは必要とする。
10. 図面は電子出願用紙(アブビタ等)の図面に記入する。
11. 図面中の図1、図2の図面は必ず図1の図面に記入する。
12. 図1、図2の図面は必ず図1の図面に記入する。

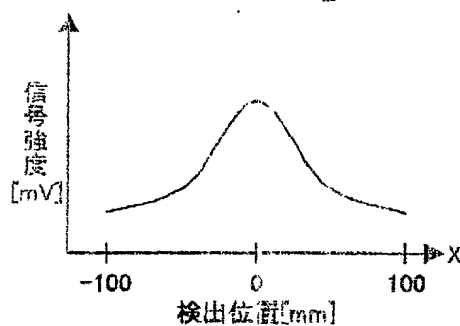
340101349

## 電子出願図面用紙

【図9】



【図10】



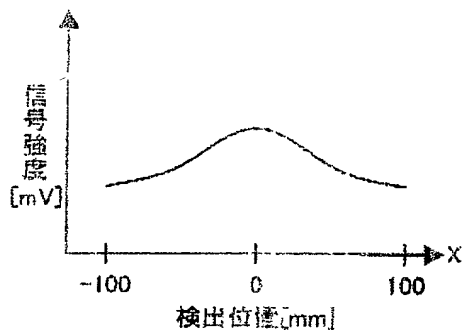
## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上部に図1、図2のように題意部分と付し、所定欄に記入する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(ラテン文字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は□内で記入しない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一図分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記の(図) 21.5mm×(図) 14.4mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上部中央部に入れる。
9. 符号に二つ以上の数字が入れられるときは縦方向に付し、各符号の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願(電子イメージリーダ2000)で読み込まれるための図に配図する。
11. 図面はハイサイスの1図に収容してプリントする。
12. 図、数式を正確に記述して作成する。

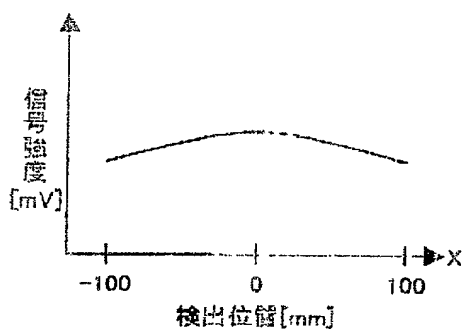
340101349

# 電子出願図面用紙

【図11】



【図12】



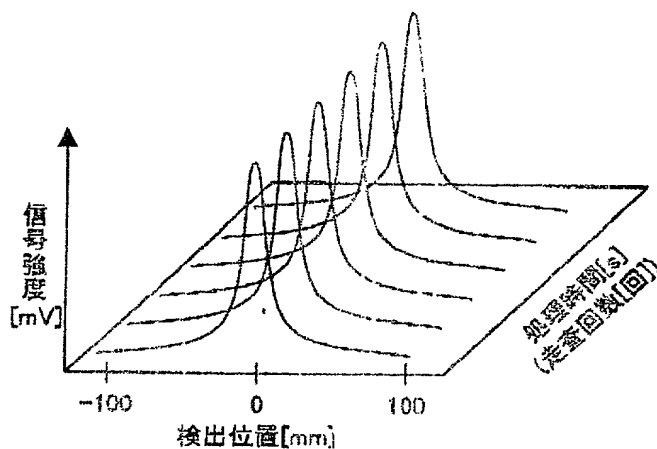
## 作成上の注意

1. 図面の形状を最もよく表す図を選択する。
2. 必要に応じて、図の上部に図1、図2のように題意説明を行い、図中に記述する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は図中に記述して記入する。
5. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
6. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
7. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
8. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
9. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
10. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
11. 図中の文字は、図中に記述して記入する。
12. 図中の文字は、図中に記述して記入する。

340101349

## 電子出願図面用紙

【図13】



## 作成上の注意

1. 図中の図面を最も長く表示する図とする。
2. 各図ごとに、図の左側に図1、図2のように識別番号を付し、各付図に記す。10、図面は電子出願システム（イメージリー）で読み込まれるため次の様に配慮する。
3. 中心線は記入しない。
4. 文字（アルファベット）は引出線と別で記入する。
5. 図中の図面は図面を、また図面はできるだけ大きくする。
6. 同一部分がある図にある場合は、同一の符号を付記する。
7. 図面は上記の図（図1、2）の215mm×148mmに納める。
8. 図1、図2などの図面は図の上記の図面に入れる。
9. 図内に二つ以上の図を入れる場合は、図面を20mm程度に分け、各図面を20mm程度に分ける。
10. 図面は電子出願システム（イメージリー）で読み込まれるため次の様に配慮する。
  - a. 図中の文字、図面はできるだけ大きく、12ポイント程度以上とする。
  - b. 図面を示す際には、フロッピーディスクを使用する。読みつづけてはならない。
11. 図面はA4サイズ（210mm×297mm）に納める。
12. 図、表、図説などについては、図面を20mm程度に分ける。

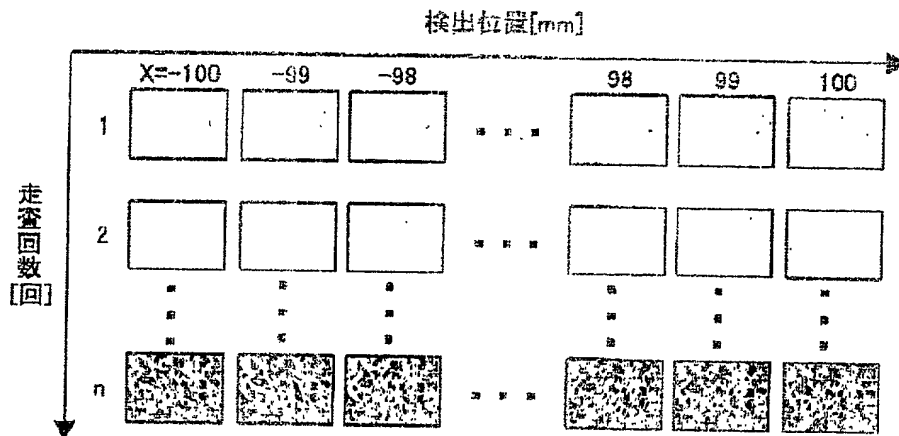




340101349

## 電子出願図面用紙

【図15】



## 作成上の注意

1. 発明の形態を最もよく表す図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように図解番号を付し、番号順に入力する。
3. 中心図は記入しない。
4. 図1(ラジエータ)は別図解を引いて記入する。
5. 図1は図解で図解しない。また図1は図解で図解しない。
6. 図1部分が2以上の図にある時は、図1の図解を省略する。
7. 図解は上記の図(図1 2 1 5 mm X 図1 4 5 mm)に納める。
8. 図1、図2などの図解は図の上側中央部に入れる。
9. 図内に二つ以上の図があるときは図解に分け、各図解の図を2 0 mmに納める。
10. 図解は電子出願システムイメージで2 0 0 (mm)で読み込まれるため次の点に留意する。
  - a. 図解中の文字、図解1でできるだけ大きく、2ポイントに納める。
  - b. 図解を大きくするには、ハッチングを減らす。塗りつぶしてはならない。
11. 図解はA 4サイズの用紙に図解にプリントする。
12. 図1、図2は、図解の上側に図解として作成する。

